



2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月13日

上場会社名 オプテックスグループ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6914 URL <https://www.optexgroup.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中島 達也
 問合せ先責任者 (役職名) 経理財務統括リーダー (氏名) 山脇 秀基 TEL 077-527-9861
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第1四半期の連結業績（2026年1月1日～2026年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	18,299	21.3	2,983	59.3	3,173	94.5	2,241	26.1
2025年12月期第1四半期	15,080	△2.5	1,873	6.7	1,631	△17.6	1,778	36.6

(注) 包括利益 2026年12月期第1四半期 2,441百万円 (117.2%) 2025年12月期第1四半期 1,124百万円 (△49.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	62.92	62.39
2025年12月期第1四半期	49.92	49.57

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第1四半期	77,672	57,502	73.5
2025年12月期	76,939	56,149	72.4

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 57,066百万円 2025年12月期 55,707百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	25.00	—	31.00	56.00
2026年12月期	—	—	—	—	—
2026年12月期（予想）	—	32.50	—	32.50	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	33,200	9.4	3,800	4.2	3,800	19.0	2,700	△10.0	75.80
通期	69,000	4.7	8,800	7.9	8,800	10.0	6,600	0.1	185.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年12月期 1 Q	37,735,784株	2025年12月期	37,735,784株
② 期末自己株式数	2026年12月期 1 Q	2,100,395株	2025年12月期	2,115,195株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年12月期 1 Q	35,621,576株	2025年12月期 1 Q	35,614,329株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「ベンチャースピリット溢れる企業集団を目指す。」を企業理念とし、収益性の向上と持続的成長を目指しております。今年度はソリューション提案ビジネスへの移行を加速させるとともに、事業ポートフォリオ経営の推進を重点施策と位置付け、取り組みを強化しております。また、当社グループの「サステナビリティ基本方針」に基づき、事業を通じて様々な社会・環境課題を解決することで、社会の持続的な発展への貢献と企業価値の最大化に向け邁進しております。

当第1四半期連結累計期間（2026年1月1日～2026年3月31日）の経営成績は、SS（センシングソリューション）事業が引き続き順調に推移し、IA（インダストリアルオートメーション）事業も回復基調のもと業績を押し上げました。さらに為替の影響もあり、売上高は182億99百万円と前年同期に比べ21.3%の増収となりました。利益面につきましては、人件費の増加等はあったものの、為替の影響及び高収益製品の販売増等による売上総利益の増加がこれらを吸収した結果、営業利益は29億83百万円（前年同期比59.3%増）、経常利益は31億73百万円（前年同期比94.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は22億41百万円（前年同期比26.1%増）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

① SS事業

SS事業は、米国の関税政策の影響を受けたものの、ソリューション提案ビジネスが奏功し、売上高は88億83百万円（前年同期比13.1%増）、営業利益は高収益製品の販売増による原価率の低減等により17億72百万円（前年同期比11.0%増）となりました。

防犯関連は、売上高55億38百万円（前年同期比12.7%増）となりました。国内では警備会社向けの販売が伸び悩んだものの、海外では米国及びヨーロッパにおけるデータセンター等の大型重要施設向けソリューション販売が好調に推移した結果、前年同期実績を上回りました。

自動ドア関連は、売上高21億52百万円（前年同期比9.6%増）となりました。国内では自動ドアセンサーの販売が軟調に推移したものの、遠隔モニタリングソリューションや客数情報カウントシステムの販売が堅調に推移しました。海外では米国向けの自動ドアセンサーの販売が好調に推移した結果、前年同期実績を上回りました。

社会・環境関連は、国内及び米国における駐車場管理システム向け車両検知センサー・ソリューション販売が好調に推移しました。また、国内での水質センサー・ソリューション販売も堅調に推移した結果、売上高は11億93百万円（前年同期比21.7%増）となりました。

② IA事業

IA事業は、売上高91億69百万円（前年同期比31.3%増）、営業利益は14億90百万円（前年同期比188.7%増）となりました。

FA関連は、国内では半導体、電気・電子部品関連を中心に設備投資需要が回復基調で推移したことから販売が増加しました。海外では、ヨーロッパにおけるOEM向け販売が大きく伸長したほか、中国においても市況回復を背景に需要が持ち直し、自動化・省人化用センサーの販売が好調に推移しました。これらの結果、売上高は27億59百万円（前年同期比29.5%増）となりました。

検査用照明関連は、国内ではAI向けの設備投資需要の拡大を背景に半導体、電気・電子部品向けの販売が好調に推移しました。海外では、ヨーロッパ及びアジア向けの販売が好調に推移した結果、売上高は43億89百万円（前年同期比26.3%増）となりました。

産業用PC関連は、半導体製造装置向けの販売が回復したことに加え、社会インフラ向け製品の販売が堅調に推移した結果、売上高は15億43百万円（前年同期比34.2%増）となりました。

自動化装置関連は、電気自動車（EV）向けの設備投資需要が一巡した影響により、車載向け電池分野における大型案件の売上は減少したものの、小型電池向けを中心とした案件の積み上げ等により、売上高は4億75百万円（前年同期比111.6%増）となりました。

③ EMS事業

EMS事業における外部顧客への売上高は、生産受託案件が堅調に推移したことにより2億40百万円（前年同期比1.9%増）となりました。営業損益はグループ内製品の製造量が増加し収益性は改善したものの、39百万円の営業損失（前年同期は1億37百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は776億72百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億33百万円増加しました。

流動資産は601億89百万円となり、7億1百万円増加しました。これは主に、受取手形及び売掛金が5億32百万円減少したものの、現金及び預金が4億99百万円、原材料及び貯蔵品等の棚卸資産が4億84百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は174億83百万円となり、32百万円増加しました。これは主に、償却等によりのれん等の無形固定資産が98百万円減少したものの、子会社における金型取得等に伴い工具、器具及び備品等の有形固定資産が1億25百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は201億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億20百万円減少しました。これは主に、短期借入金及び賞与引当金等の流動負債が5億35百万円減少したことに加え、長期借入金等の固定負債が84百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は575億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億53百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が11億34百万円増加、為替換算調整勘定等のその他の包括利益累計額が1億99百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の業績見通しについては、2026年2月13日に公表いたしました予想から変更はありません。

なお、地政学的リスクを背景としたエネルギー価格の高止まりや、物価上昇圧力・景気減速懸念の継続、各国の金融引き締めなどにより、当社グループを取り巻く事業環境は依然として不確実性が高い状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは各販売拠点の受注状況及び今後の受注見通しを継続的に注視・精査しております。今後、状況の変化により連結業績予想を修正する必要性が生じた場合は、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,884	23,383
受取手形及び売掛金	13,894	13,361
商品及び製品	7,404	7,184
仕掛品	4,133	4,423
原材料及び貯蔵品	9,636	10,050
未収還付法人税等	73	51
その他	1,612	1,912
貸倒引当金	△151	△178
流動資産合計	59,488	60,189
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,111	5,188
機械装置及び運搬具(純額)	603	591
工具、器具及び備品(純額)	1,114	1,243
土地	3,495	3,501
建設仮勘定	212	153
使用権資産	131	115
有形固定資産合計	10,668	10,793
無形固定資産		
特許権	27	6
商標権	99	79
顧客関連資産	46	11
のれん	1,083	1,043
その他	913	930
無形固定資産合計	2,170	2,072
投資その他の資産		
投資有価証券	1,567	1,586
長期貸付金	29	29
繰延税金資産	2,316	2,320
その他	734	714
貸倒引当金	△34	△34
投資その他の資産合計	4,612	4,617
固定資産合計	17,451	17,483
資産合計	76,939	77,672

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,499	3,803
短期借入金	3,800	3,300
1年内返済予定の長期借入金	848	827
未払金	1,397	1,470
未払法人税等	1,082	1,199
賞与引当金	1,263	827
その他	4,043	3,969
流動負債合計	15,934	15,398
固定負債		
長期借入金	1,806	1,606
繰延税金負債	596	630
再評価に係る繰延税金負債	5	5
退職給付に係る負債	1,594	1,618
役員退職慰労引当金	246	211
その他	606	698
固定負債合計	4,856	4,771
負債合計	20,790	20,170
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,798	2,798
資本剰余金	7,564	7,564
利益剰余金	43,643	44,777
自己株式	△3,433	△3,409
株主資本合計	50,572	51,731
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	119	136
土地再評価差額金	11	11
為替換算調整勘定	5,019	5,200
退職給付に係る調整累計額	△14	△12
その他の包括利益累計額合計	5,135	5,335
新株予約権	416	410
非支配株主持分	24	25
純資産合計	56,149	57,502
負債純資産合計	76,939	77,672

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
売上高	15,080	18,299
売上原価	6,967	8,317
売上総利益	8,113	9,982
販売費及び一般管理費	6,239	6,998
営業利益	1,873	2,983
営業外収益		
受取利息	52	44
受取配当金	0	3
為替差益	—	114
受取賃貸料	5	4
持分法による投資利益	1	11
その他	13	32
営業外収益合計	75	211
営業外費用		
支払利息	19	18
為替差損	285	—
賃貸費用	2	2
その他	8	0
営業外費用合計	316	21
経常利益	1,631	3,173
特別利益		
固定資産売却益	—	2
投資有価証券売却益	909	—
特別利益合計	909	2
特別損失		
固定資産除売却損	1	8
投資有価証券評価損	100	16
事務所移転費用	—	21
特別損失合計	101	46
税金等調整前四半期純利益	2,439	3,129
法人税、住民税及び事業税	645	861
法人税等調整額	14	25
法人税等合計	660	886
四半期純利益	1,779	2,243
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,778	2,241

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益	1,779	2,243
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8	17
土地再評価差額金	0	—
為替換算調整勘定	△678	179
退職給付に係る調整額	13	1
その他の包括利益合計	△655	198
四半期包括利益	1,124	2,441
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,123	2,441
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	SS事業	IA事業	EMS事業	計				
売上高								
防犯関連	4,913	—	—	4,913	—	4,913	—	4,913
自動ドア関連	1,963	—	—	1,963	—	1,963	—	1,963
社会・環境関連	980	—	—	980	—	980	—	980
FA関連	—	2,131	—	2,131	—	2,131	—	2,131
検査用照明関連	—	3,474	—	3,474	—	3,474	—	3,474
産業用PC関連	—	1,150	—	1,150	—	1,150	—	1,150
自動化装置関連	—	224	—	224	—	224	—	224
その他	—	—	236	236	5	242	—	242
顧客との契約から生じる収益	7,856	6,981	236	15,075	5	15,080	—	15,080
外部顧客への売上高	7,856	6,981	236	15,075	5	15,080	—	15,080
セグメント間の内部売上高又は振替高	5	1	1,140	1,148	2	1,150	△1,150	—
計	7,862	6,983	1,377	16,223	8	16,231	△1,150	15,080
セグメント利益又は損失(△)	1,597	516	△137	1,976	△14	1,962	△88	1,873

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、環境体験学習運営等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△88百万円には、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	SS事業	IA事業	EMS事業	計				
売上高								
防犯関連	5,538	—	—	5,538	—	5,538	—	5,538
自動ドア関連	2,152	—	—	2,152	—	2,152	—	2,152
社会・環境関連	1,193	—	—	1,193	—	1,193	—	1,193
FA関連	—	2,759	—	2,759	—	2,759	—	2,759
検査用照明関連	—	4,389	—	4,389	—	4,389	—	4,389
産業用PC関連	—	1,543	—	1,543	—	1,543	—	1,543
自動化装置関連	—	475	—	475	—	475	—	475
その他	—	—	240	240	6	247	—	247
顧客との契約から生じる収益	8,883	9,169	240	18,293	6	18,299	—	18,299
外部顧客への売上高	8,883	9,169	240	18,293	6	18,299	—	18,299
セグメント間の内部売上高又は振替高	6	173	1,293	1,474	2	1,476	△1,476	—
計	8,890	9,342	1,534	19,768	8	19,776	△1,476	18,299
セグメント利益又は損失(△)	1,772	1,490	△39	3,223	△16	3,207	△223	2,983

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、環境体験学習運営等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△223百万円には、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	439百万円	487百万円
のれんの償却額	64	75